



先日、中央本部のある水道橋駅近くの横断歩道で、信号機用の押しボタンが2種類あることに気づきました。よく見かける黄色い「夜間歩行者用押しボタン」。(写真では左下) この辺りはビジネス街なので、夜間は押しボタン式になるようです。右側の白い方は、高齢者や障がいのある方が安全に渡れるよう、青信号の時間を通常の1.2倍にできる押しボタンです。また、目の不自由な方のため、青信号になったのを音でお知らせもしてくれます。

暮らしの中の「小さな親切」発見



知ってましたか？ 押しボタン式信号機の種類

オリンピックに向けて 外国語表示をスタート

もう一つ、気づいたこと。「歩行者用押しボタン」の表示板の方は、外国語が書いてあります。これは、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、警視庁が昨年設置を始めた表示板です。ボタンを押して、信号が青に変わるま

で待つよう促す内容が、英語と中国語、韓国語で記載されています。た

しかに、外国には押しボタン式信号機がないところもあるでしょうし、外国語表示は必須です。

また、表示板のコードを専用アプリ「UniVoice」で読み込むと、フランス語やドイツ語など計11言語の音声で表記を読み上げてくれます。「専用アプリ」の案内が書いてない

のが残念。今後の周知が必要です。

この「UniVoice」、コードの中の情報を読み上げたりテキストにすることができ、文字が読めないハンデイのある方や、日本語の表示を外国語に翻訳したりする場合、非常に便利なシステムです。こちらもオリンピックに向け、どんどん目にする機会が増えそうです。ぜひ皆さんも覚えておいてください！

これって どうなの??



近

頃、朝の出勤でイライラする
ことが多くなった。大げさで
なく、2、3分のバスの遅れが、始

発電車の座席確保を左右する。

それでは、もう一本早いバスに乘ればと思われるだろうが、6時20分は始発なのだ。電車だけで1時間、バスや乗り換え時間を合算すると1時間40分の通勤時間が、年齢を重ねることにしんどくなってきた。

乗車前に220円の小銭を

用意せず、バス乗車後、おもむろにバッグに手を入れ、小銭を数えだす人。あげくは足りず、千円札で清算。「あー、信号が変わってしまった。この信号は長いのに」と思わずつぶやく。

雨の日。バスの乗車前に、傘のしずくを丹念に払い、ゆっくり乗車す

る人。大半の乗客が傘をまずたたみ、少し濡れながら乗車するのに優雅な所作である。朝でなければ、イライラする光景でもないのだが……。

乗客は駅に行く人が多い中、途中のバス停でいつも一人降りる人。バスの一番後ろからゆっくり下車する。どうして、下車しやすいドア近くの席にすわらないのだろうか。

座りたいという自己都合で人を批判するのはどうかと自分でも思うが、一方で、忙しい時間帯だからこそ心遣いがあってもよいのではないだろうか。親切は不特定多数の人のためにも行えるもの。

まずは、私はこんな人にはならないことを宣言する。(事務局長 山橋由貴子)